

令和元年5月10日
記者発表資料

第54回神奈川県看護賞の受賞者が決定しました

神奈川県看護賞は、多年にわたり神奈川県内において、保健師、助産師、看護師等としてその業務に励み顕著な業績をあげた方々を表彰し、その功労に報いるとともに、県民の看護に対する理解を深めることを目的として昭和41年に設けられた表彰制度です。このたび、第54回神奈川県看護賞の受賞者が決定し、次のとおり看護の日(5月12日)にちなんだ看護週間に看護賞贈呈式を行います。

1 受賞者 (別紙を参照ください)

10名(保健師2名、助産師1名、看護師7名)

2 贈呈式

- (1) 日時 令和元年5月17日(金)午後3時から
- (2) 場所 神奈川県立青少年センター(横浜市西区紅葉ヶ丘9-1)
- (3) 表彰者・授与者 神奈川県知事 黒岩祐治
- (4) 取材 取材を希望される方は事前に問合せ先までご連絡ください。

(参考)

令和元年度看護週間 5月12日(日)から5月18日(土)まで
(5月12日は近代看護の創始者ナイチンゲールの誕生日)

問合せ先

神奈川県健康医療局保健医療部保健人材課

課長 浅場 電話 045-210-4742

副課長 茂木 電話 045-210-4743

第54回神奈川県看護賞受賞者名簿

*各項目とも平成31年4月1日現在
(職種・五十音順、敬称略)

	区分	氏名	所属 (所在地)	功績等
1		保健師 そが ひとみ 曾我 仁美	中井町健康課 (中井町)	長きにわたり町民の健康維持・増進のため、中井町健康づくり運動の実践者として活躍。保健事業の企画・立案から実施・評価に至る一連の活動の指導的役割を果たし、また「中井町健康増進計画」策定における関係者との連携・調整を行うなど大きく事業に貢献。
2		保健師 ふじわら けいこ 藤原 啓子	横浜市健康福祉局健康安全部 (横浜市)	寿町においてDOTS対策を本格稼働させるなど、ホームレス結核対策の仕組みを整備。また、行政保健師の業務指針やそれに関わる研修体系の整備等に取り組み、専門職の育成を推進。医道審議会部会委員等も務め、保健師全体の教育の質向上・仕組の整備に寄与。
3		助産師 たなか さえこ 田中 サエ子	医療法人財団慈啓会 大口東総合病院 (横浜市)	病院内の看護職員の自己研鑽を推進するとともに、相互理解のある良好な職場環境づくりをするなど、看護師離職防止及び復職支援に貢献。また、病児保育室の立ち上げ等を行うことにより、地域の養育者に対して社会的にも貢献。
4		看護師 いしもり くみこ 石守 久美子	一般社団法人日本海員掖済会 横浜掖済会病院 (横浜市)	横浜市在職中は、先進医療に伴う看護について学会に演題を提出するなど看護の質向上に努め、かつ後輩の指導・育成にも尽力。また、現在勤務病院が横浜市地域ケアプラザで実施している健康教室へも積極的に参加し、地域保健医療向上に貢献。
5		看護師 おおつか たかこ 大塚 孝子	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 (相模原市)	長きにわたり看護師として、地域住民の健康保持に多大に貢献。また、病院経営においても、地域で初の緩和ケア病棟やNICUの立ち上げを行うなど尽力し、病院の看護部長として職員の指導をきめ細やかに行うとともに、看護協会の運営にも貢献。

		区分	氏名	所属（所在地）
		功績等		
6		看護師	かすが けいこ 春日 慶子	医療法人社団若林会 湘南中央病院 (藤沢市)
		湘南中央病院では102床から199床へ増床したケアミックス型病院設立に関与、また緩和ケア病棟の立ち上げにも寄与し、病院及び看護部の運営に貢献。神奈川県看護協会における教育研修委員他、様々な委員としての活動歴もあり、看護職の教育・育成にも尽力。		
7		看護師	しだ ちよこ 志田 千代子	医療法人愛仁会 太田総合病院 (川崎市)
		太田総合病院において看護部師長、副部長、部長を歴任し、患者や職員からその誠実、温厚な人柄は信頼され高く評価されている。退職後も病院の要望により復職し看護部の顧問として、よきアドバイザーとして貢献。		
8		看護師	つなしま たかえ 綱嶋 たかえ	社会福祉法人聖テレジア会七里ガ浜ホーム (鎌倉市)
		川崎市立病院看護部人材育成計画の策定や、地域医療連携の推進、医療的ケアを必要とする園児を受け入れる保育園職員のための研修や、看護師の対応力とケアの質向上を目指した認知症患者ケア実践能力向上研修の企画・実施など、多方面に貢献。		
9		看護師	もりうち みねこ 森内 みね子	神奈川県立こども医療センター (横浜市)
		県立病院、本庁、学校など多岐にわたる職場で看護師あるいは看護専任教員として、看護教育の推進と看護師の質向上に大きく貢献。特に、県立看護専門学校再編整備に深くかかわり「特色ある学校づくり」の一環としてユニフィケーションシステムを全国に先駆けて実施。		
10		看護師	やの くみこ 矢野 久美子	社会福祉法人聖テレジア会本部事務局 (鎌倉市)
		神奈川県在職中は、3つの県立病院機構の施設で副看護局長等を務め、実践教育センターでは実践教育部長として県内の医療福祉人材の継続教育に尽力。保健福祉大学の法人化では中心的な立場で準備と事業の見直しを行い、法人化に貢献。		